



# あめが たくさん ふってきた

あめの せんを かいてみよう。

## ねらい

点線を「なぞる」ことを理解します。  
はじめは短い補助線のものから、まっすぐ途切れずにかきます。

## 指導メモ

線の上や線のないスペースにも、短い線や長い線を自分で決めてかくよう促します。「おやまにあめがふりました〜♪」など、童謡を歌いながら取り組むと、上から下への雨の線のイメージが持ちやすくなるでしょう。  
「点々をなぞって上から下にまっすぐかいていくよ。」「雨のないところにも自由に書いてみてね。」などと言葉がけをしてみましょう。

